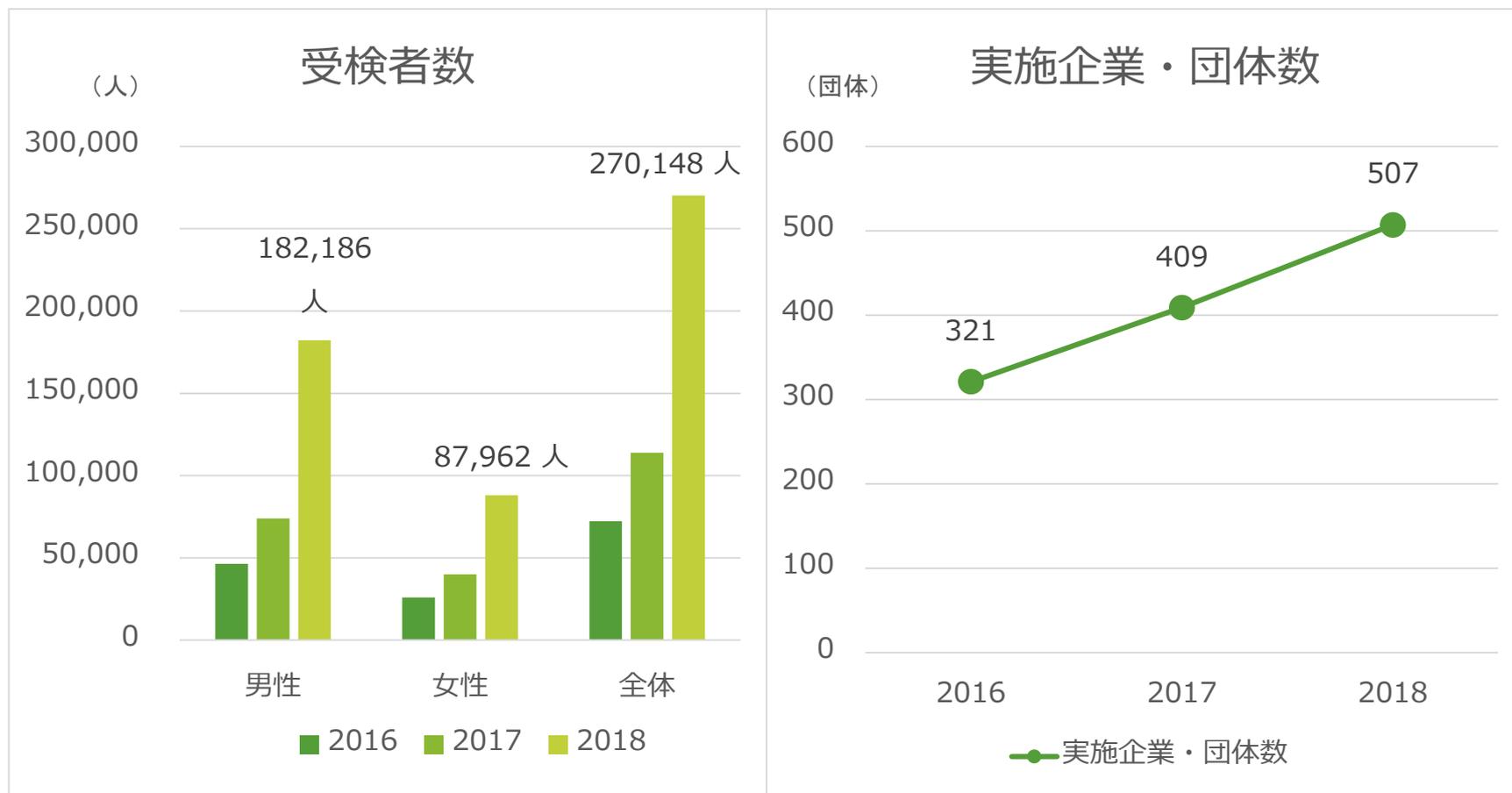


総受検者数全国45万人！
ストレスチェック全業種データから
学べること

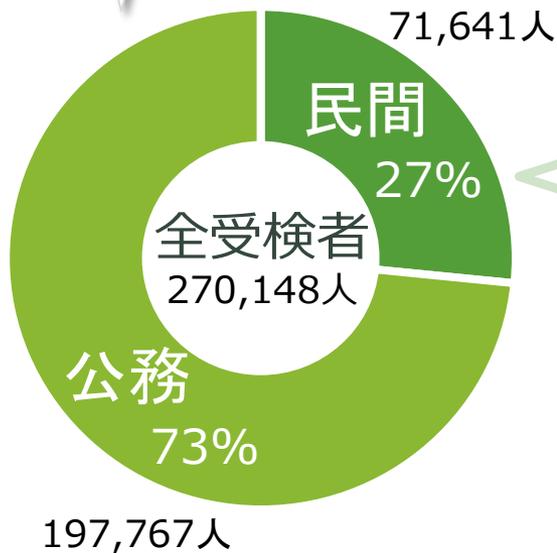
2018年ドクタートラスト ストレスチェック実施状況



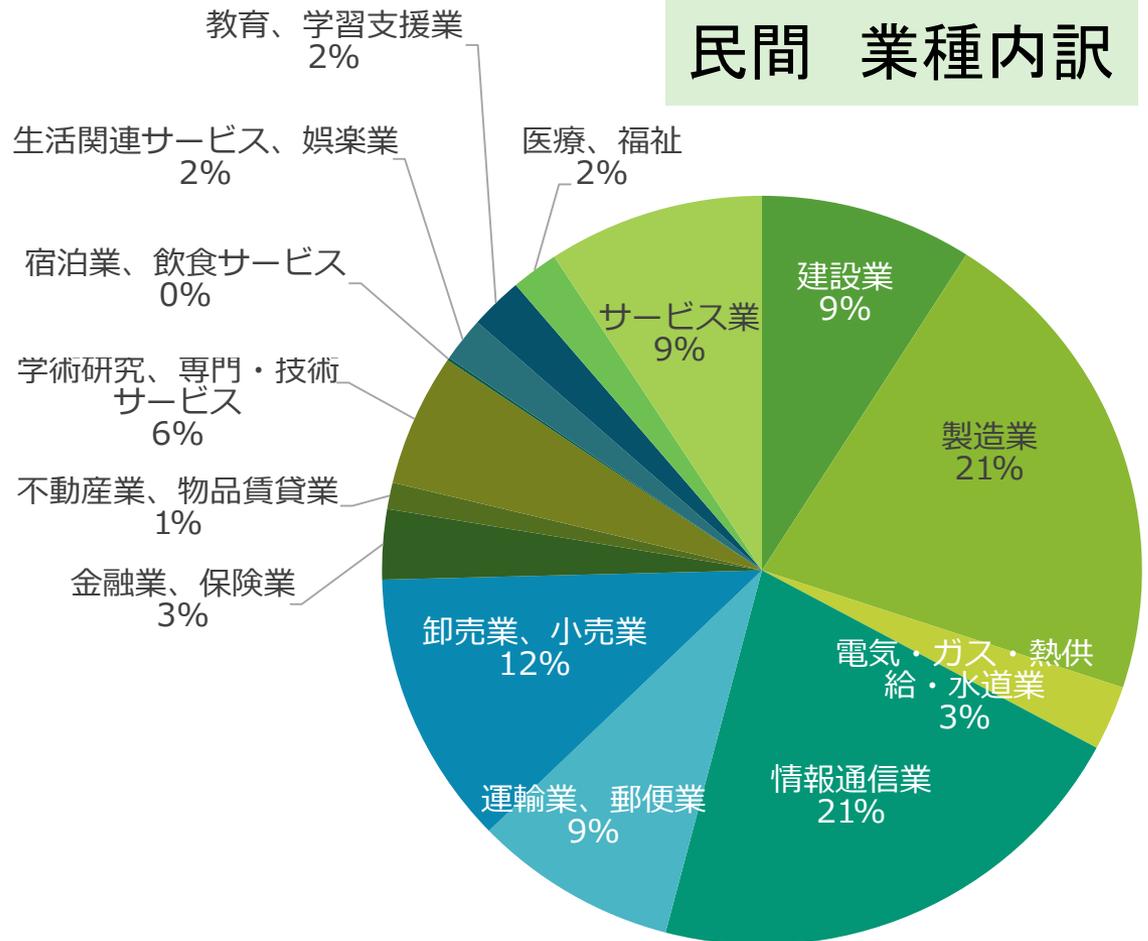
義務化後3年連続で受検者数・実施団体数は増加

受検者数の業種*別内訳

公務が
約7割

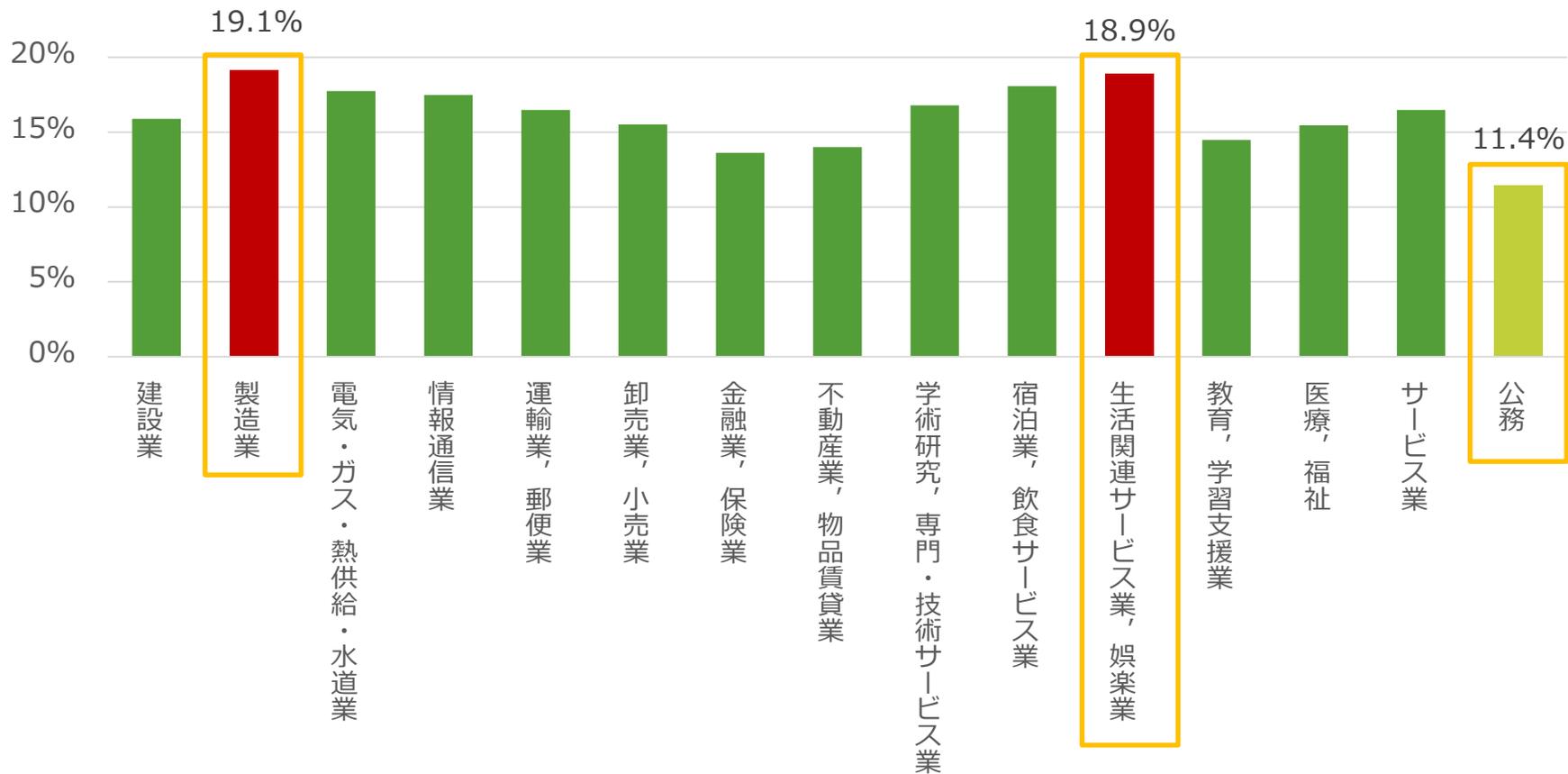


民間 業種内訳



※日本標準産業分類に基づく

高ストレス者率の業種別比較



高ストレス者率

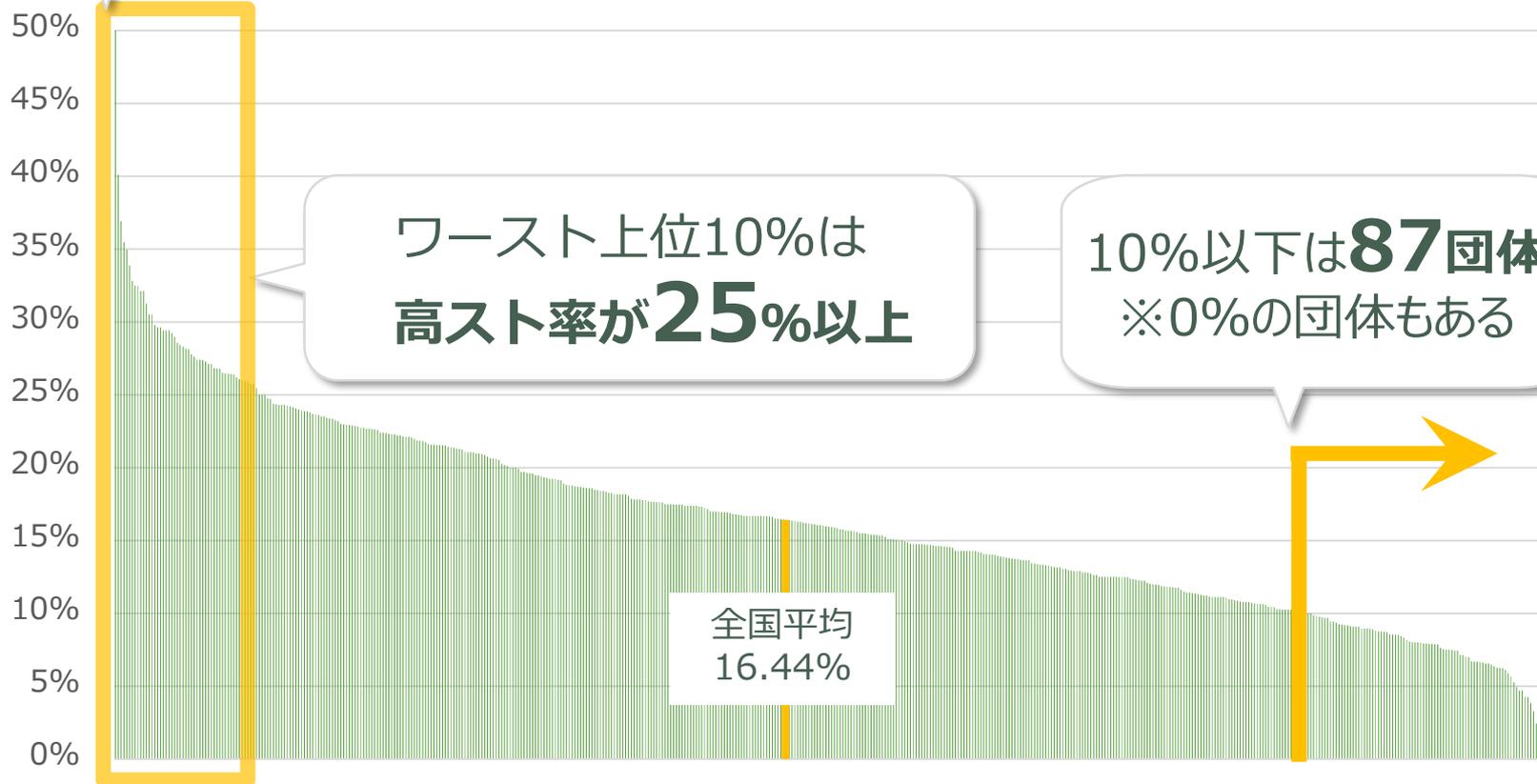
高い:「製造業」「生活関連サービス業・娯楽業」

低い:「公務」

高ストレス者率の企業別ランキング

(全507団体)

ワースト1は
高ストレス率が**50%**



ストレスチェックの質問項目

大きく分けて、**3つの領域の設問**があります

A.仕事のストレス要因

全17問（設問：1～17）

ストレスの要因となるもの

ストレスチェック

全**57**問

B.ストレス反応

全29問（設問：18～46）

実際からだやこころに
出ているストレス

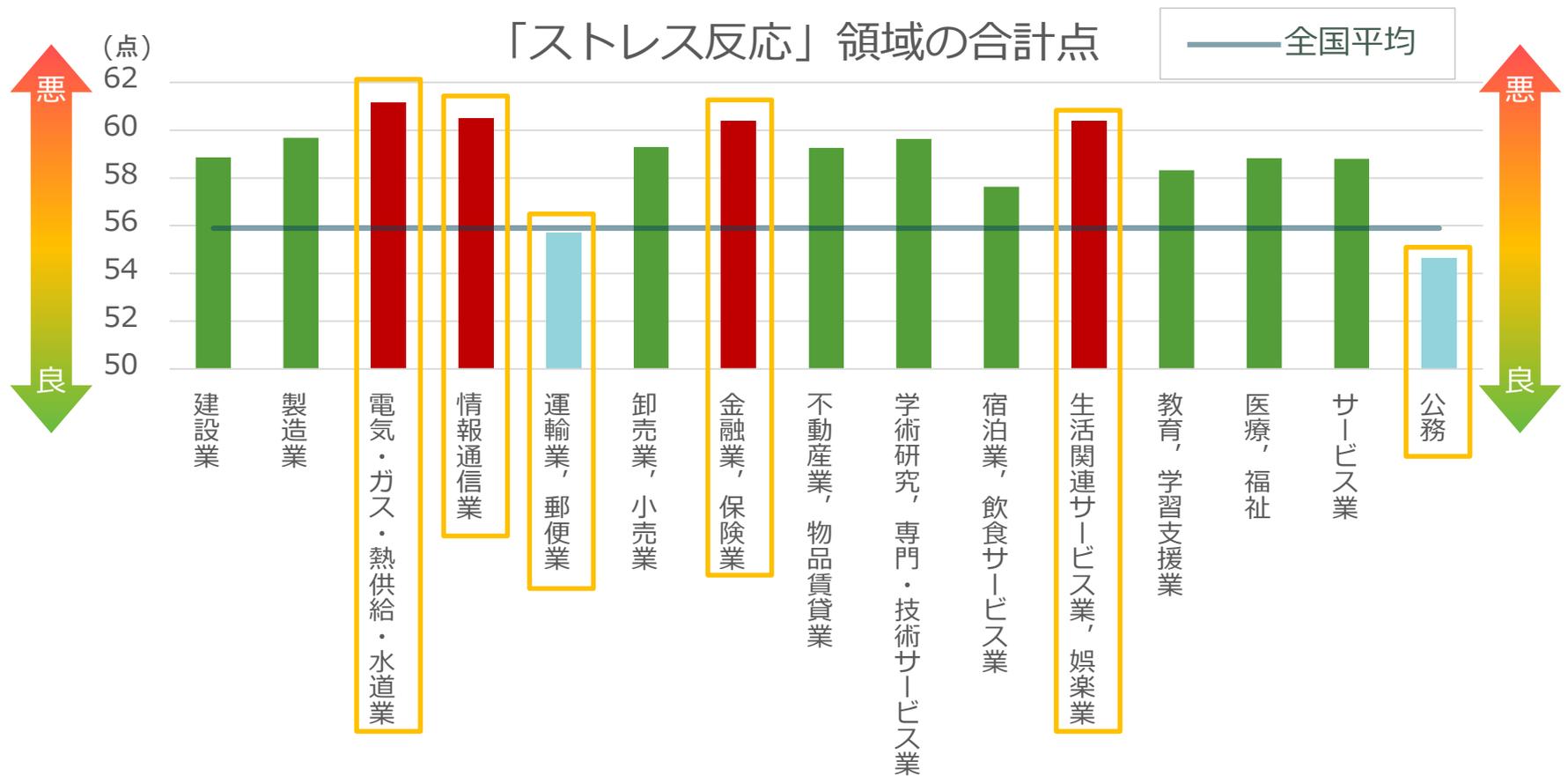
C.周囲のサポート

D.満足度

全11問（設問：47～57）

ストレスの要因となるもの

「ストレス反応」の業種比較



あくまで、各業種の全団体の平均点であることに注意

業種のストレス反応点数が低い ≠ その業種の**全団体**のストレス反応点数が低い
各企業・各団体がどうであるかに目を向けましょう

ストレス反応合計点が高い業種、低い業種

⚠️ ストレス反応合計点が高い

電気・ガス・熱供給・水道業	61.17
情報通信業	60.50
金融業・保険業	60.38
生活関連サービス業、娯楽業	60.37



✅ ストレス反応合計点が高い

運輸業、郵便業	55.72
公務	54.64



?? ストレス反応が高い・低いのはなぜ ??

仕事のストレス要因・周囲のサポート・満足度から分析しよう！

ストレス反応合計点が高い業種（1～2位）



電気・ガス・熱供給・水道業

「職場の対人関係」や物理的な「職場環境」が他業種とくらべ不良。
ストレス反応だけでなく、「仕事の適性度」や「仕事の満足度」の不良な結果にもつながっている



情報通信業

「同僚のサポート」「家族・友人のサポート」「家庭の満足度」など、ストレスをやわらげる要因が不良傾向。
「仕事のコントロール」や「技能の活用度」などは良好。
単身の比較的若い層が多いこと、コントロール度が高い反面、同僚とのコミュニケーションが少ない傾向が影響していることが考えられる。

ストレス反応合計点が高い業種 (3~4位)



金融・保険業

「仕事の質的負担」「仕事の質的負担」が不良。特に質的負担は業種の中で最も不良である。

高度な知識が必要な業務である反面、働きがいや仕事の満足度につながっていないことが考えられる。



生活関連サービス・娯楽業

「仕事の量的負担」が業種の中で最も不良。

ストレス反応の中でも、「疲労感」が特に不良であり、人出不足からのオーバーワークが予想できる。

ストレス反応合計点が低い業種（1～2位）



運輸・郵便業

「仕事のコントロール」は最も不良だが、「仕事の量的負担」「仕事の質的負担」がもっとも少なく良好である。また、「職場環境」も良好なことから、ストレス反応が少なくなっていることが考えられる。

しかし、ストレス反応が少なくとも、「働きがい」も不良となっている。

今回の「運輸・郵便業」の受検者のうち、約7割は郵便業であったため、「公務」と近い結果になっていると考えられる。

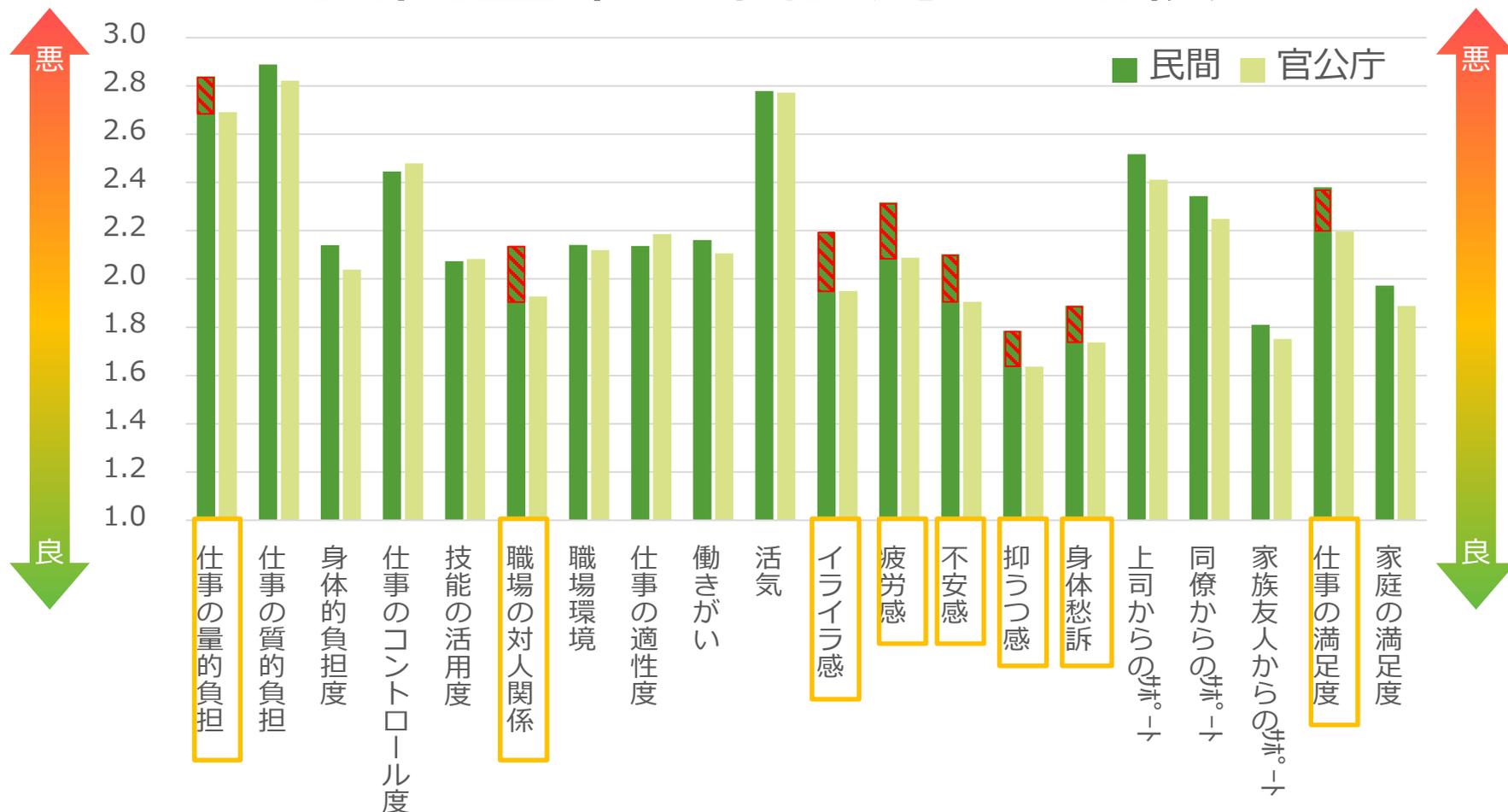


公務

「仕事の量的負担」「仕事の質的負担」とともに良好であり、「職場の対人関係」も良好な結果である。そのため、ストレス反応が他業種とくらべ低くなっていることが考えられる。

「仕事のコントロール」は不良だが、周囲のサポートや仕事の満足度が高く、結果としてストレス反応に現れる点数が低くなっている。

民間企業と官公庁の比較



全体として官公庁の方が良好な傾向

民間との差が大きいもの：「仕事の量的負担」「職場の対人関係」「活気」を除くストレス反応、「仕事の満足度」



担当保健師のひとこと

今回お示したデータは、業種平均点のみとなっています。
「情報通信業」でもストレス反応点が少ない企業もあれば、「公務」でもストレス反応点がかかなり高い組織もございます。
同じ業種の他団体はどうなのか？他業種はどうなのか？
それを比較して、自分の団体の強み・弱みはどこか？を現場感と照らし合わせて考えてみましょう。
そして、その強み・弱みの要因は何か？に焦点を合わせると、次のステップが見えやすくなります。

保健師によるセミナー、ご好評いただいております！

- ・健康診断の事後措置について
- ・アンガーマネジメント
- ・睡眠から考える長時間労働
- ・VDT症候群予防について...など

健康経営に最適なセミナーを
保健師がリーズナブルに実施いたします！

無料セミナー毎月開催中！

詳しくは特設サイトへ！

<http://seminar.doctor-trust.co.jp/>

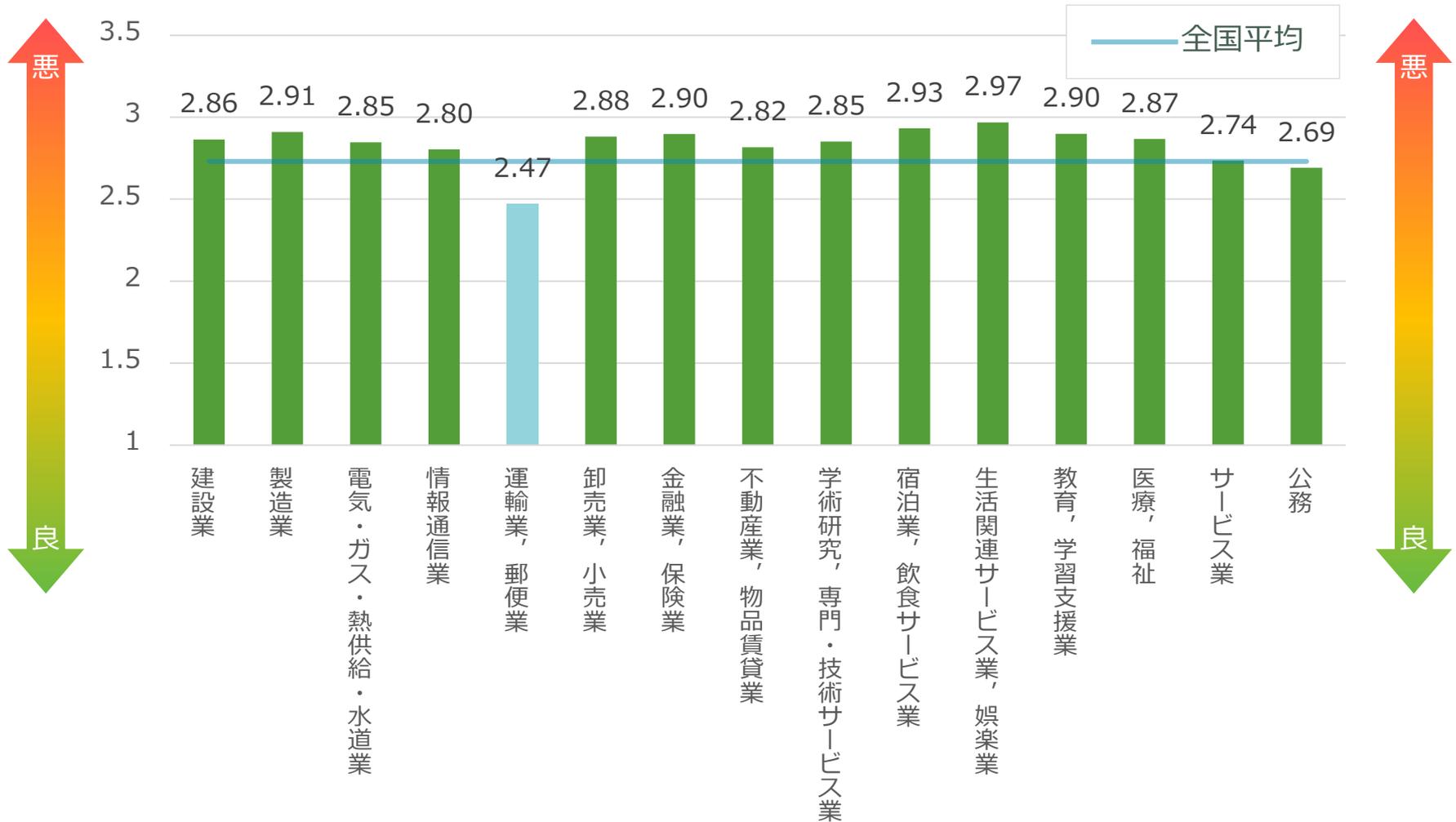
保健師 健康経営セミナー

検索

参考資料

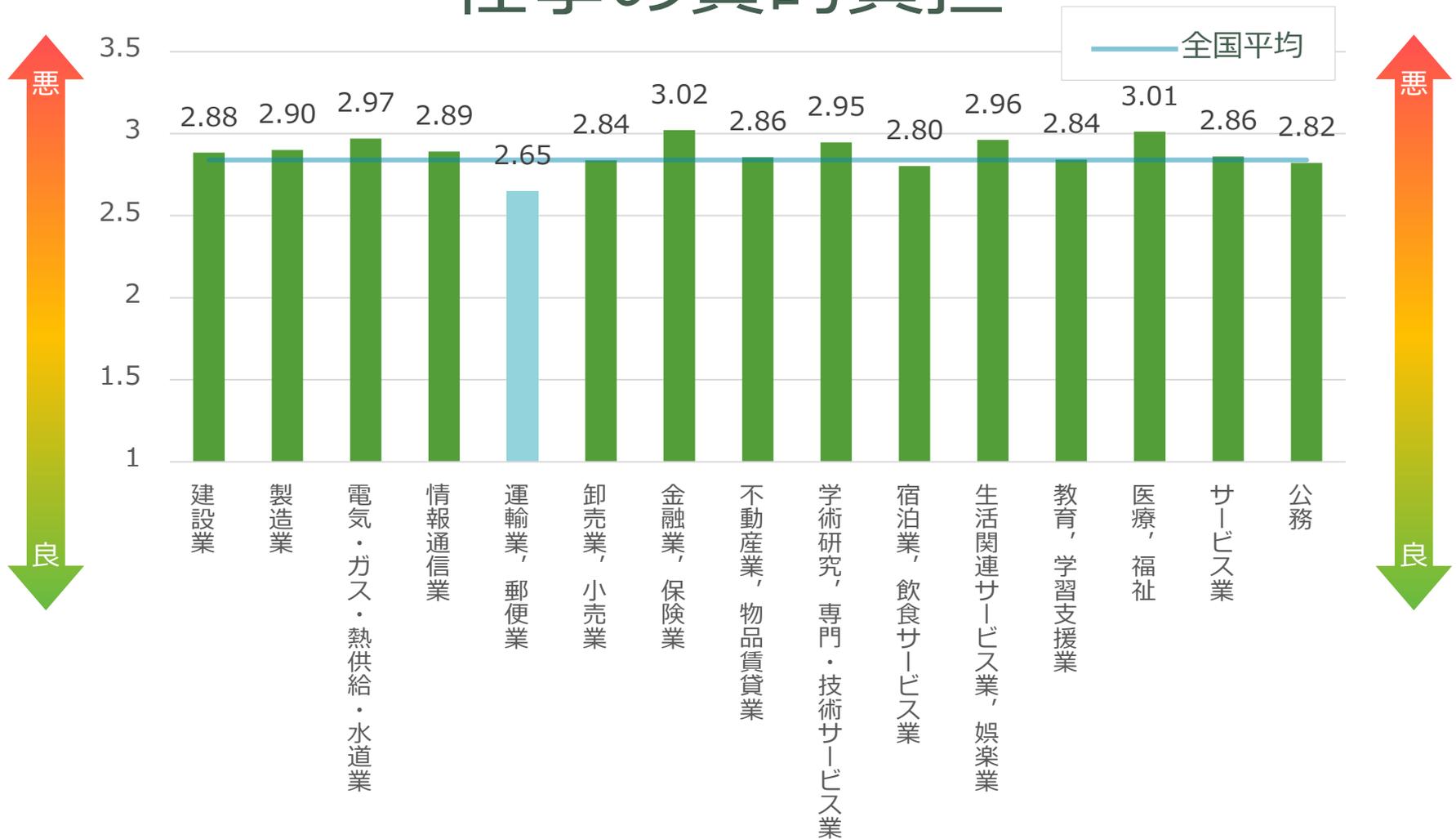
20尺度の業種比較

仕事の量的負担



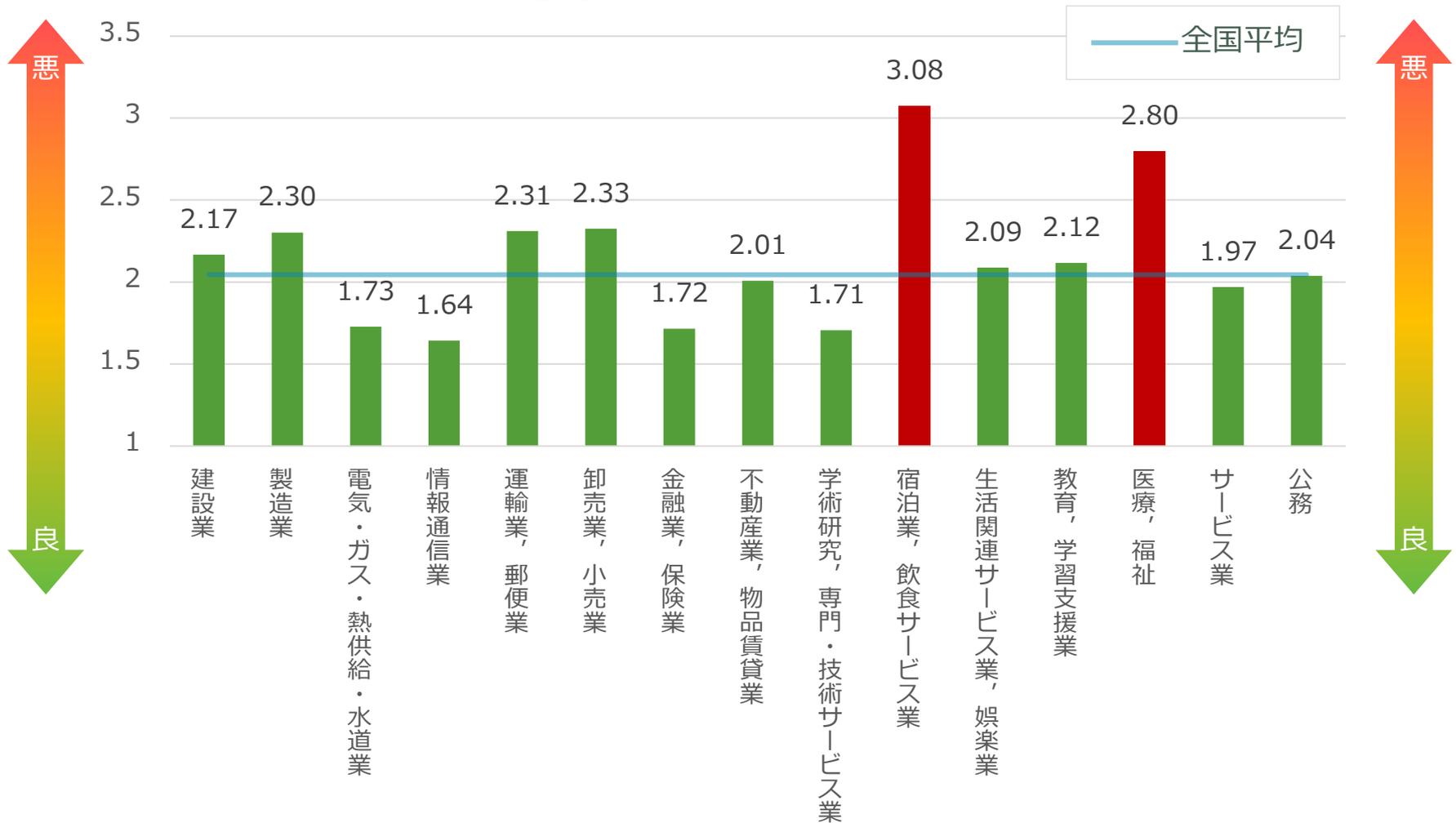
良好：運輸業・郵便業

仕事の質的負担



良好：運輸業・郵便業

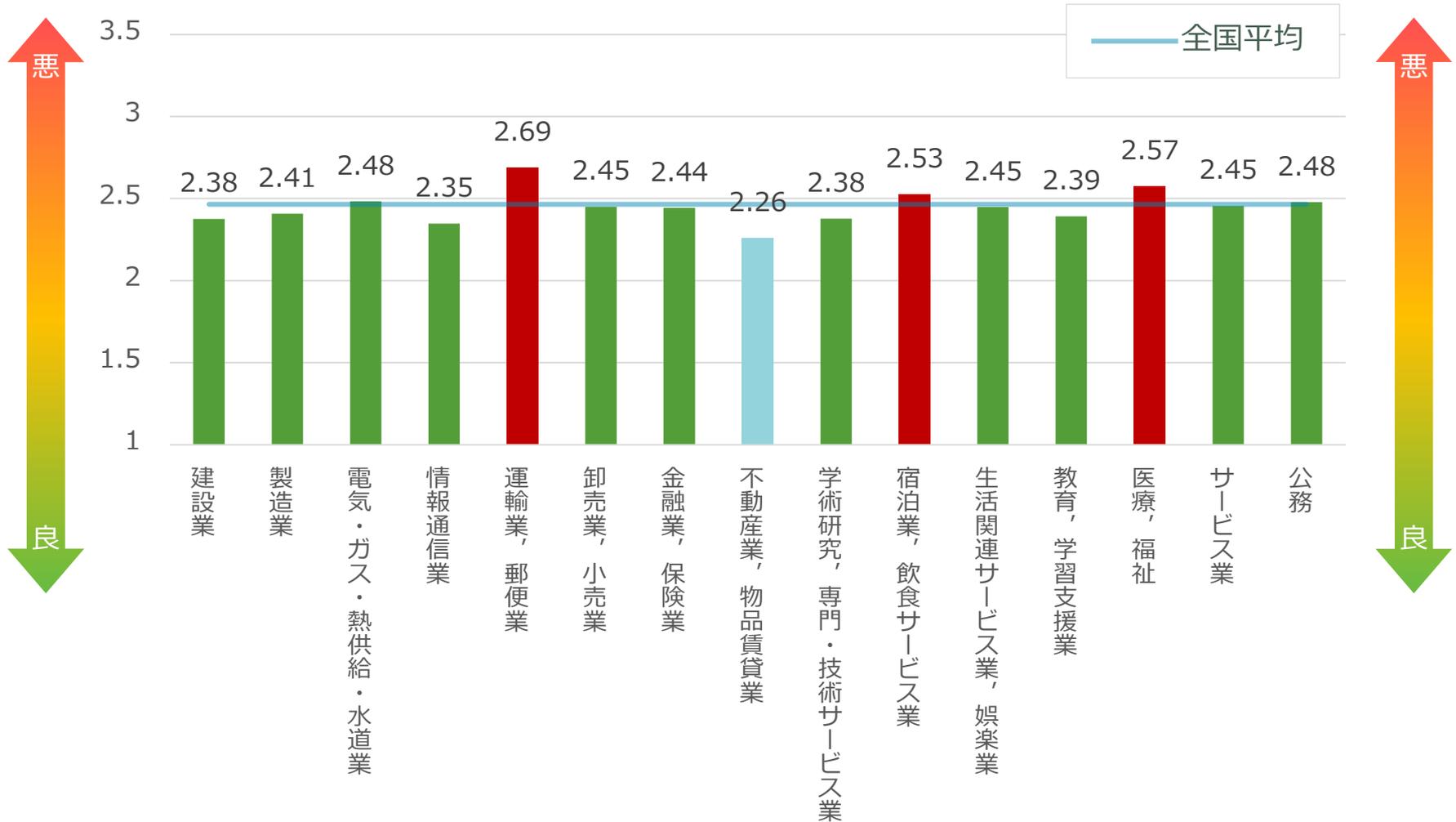
身体的負担度



業種によりばらつきが大きい

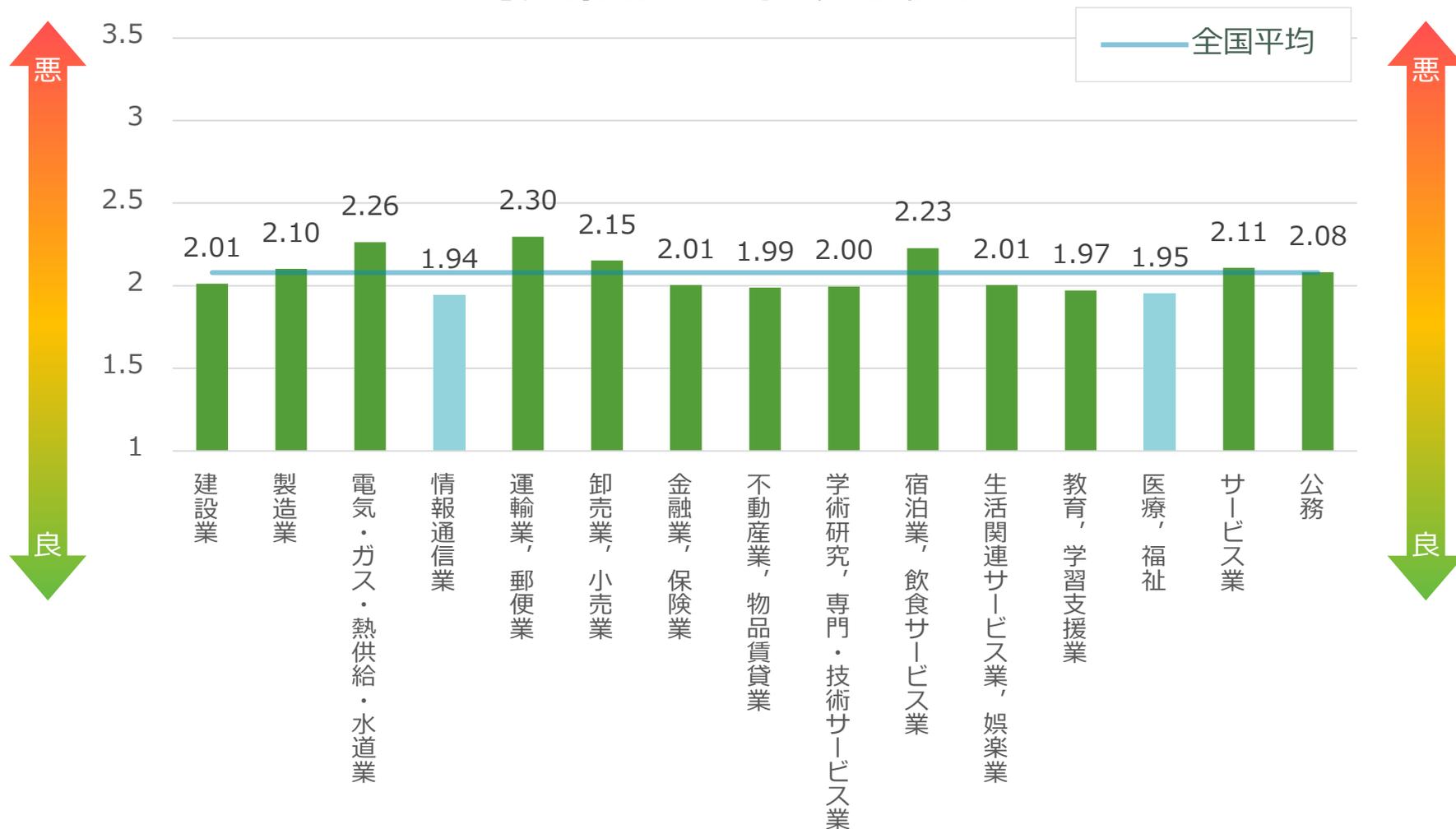
不良：宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉（からだをよく使う仕事）

仕事のコントロール度



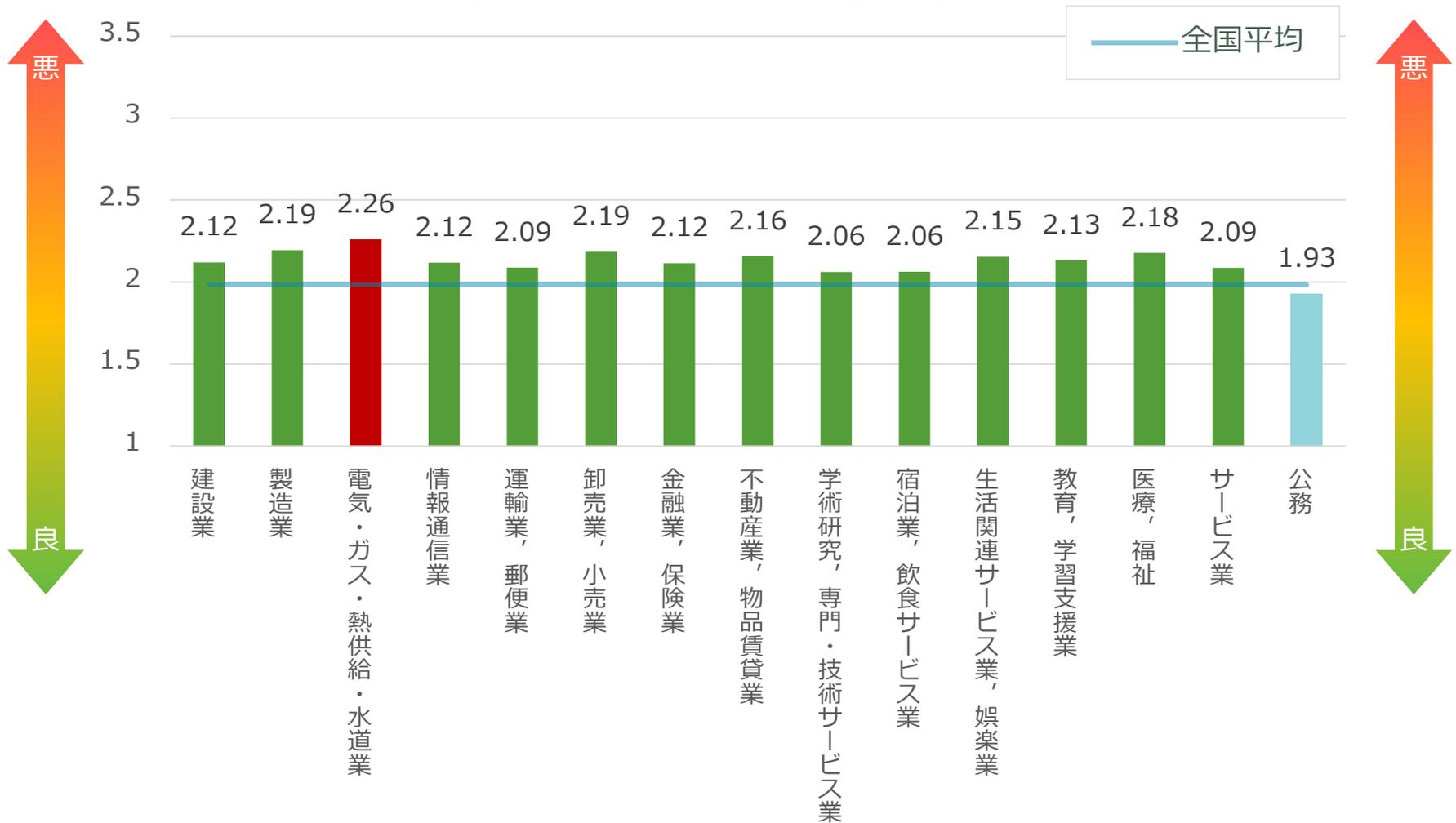
不良：運輸業・郵便業、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業
最も良好：不動産業・物品賃貸業

技能の活用度



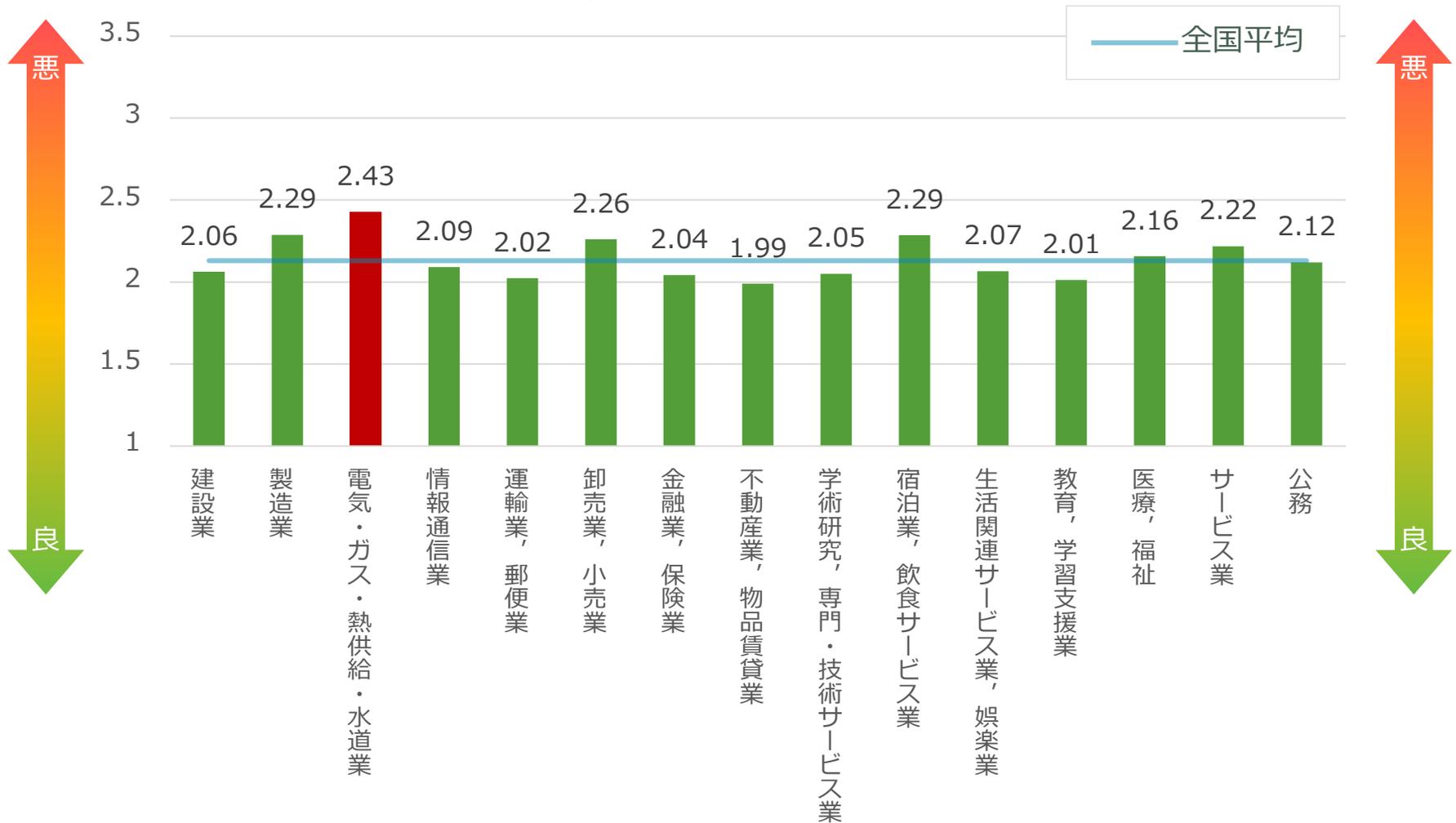
良好：情報通信業、医療・福祉（専門的な仕事内容である業種）
※ただし大きな差はない

職場の対人関係



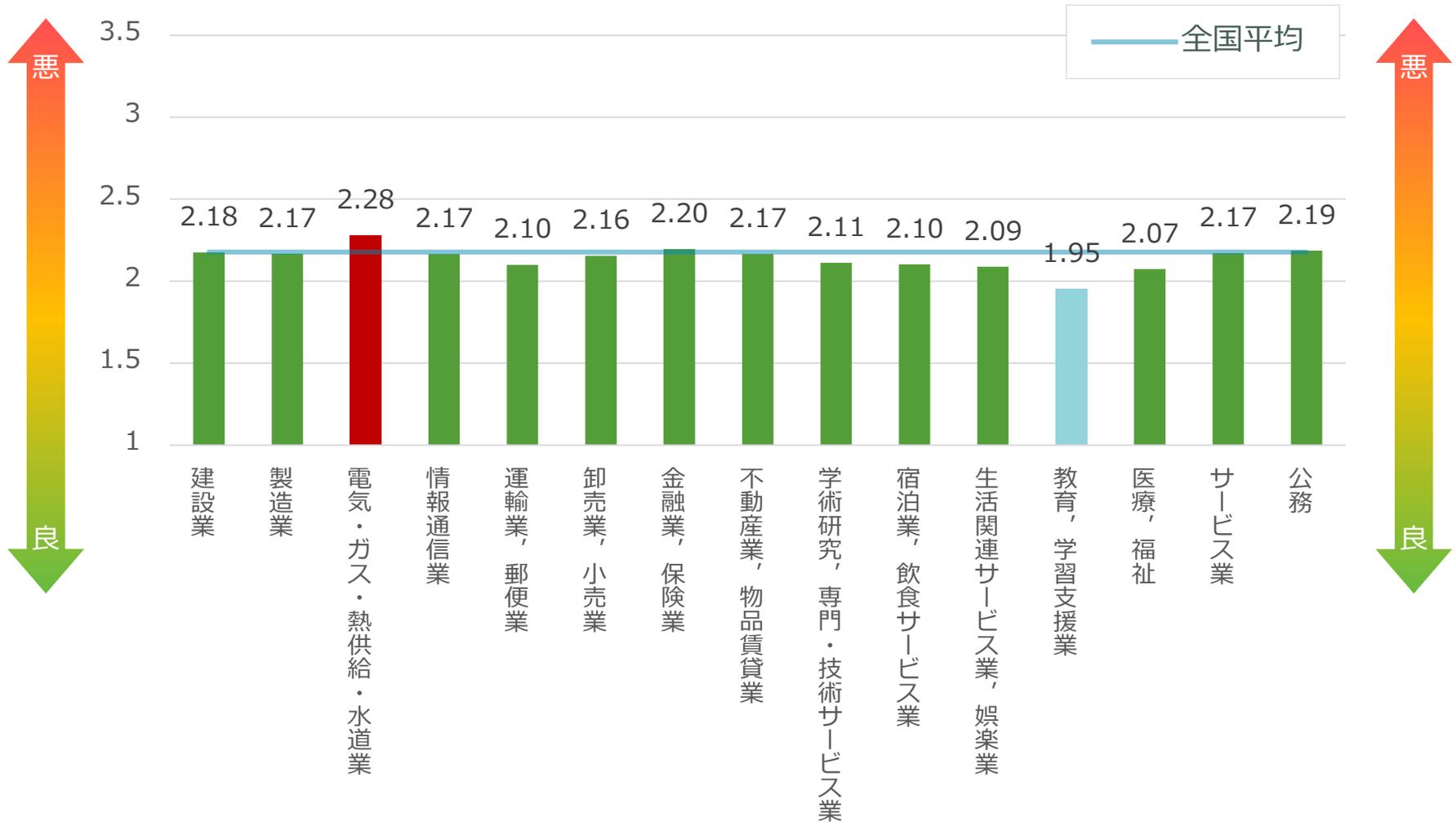
最も不良：電気・ガス・熱供給・水道業
最も良好：公務

職場環境



最も不良：電気・ガス・熱供給・水道業

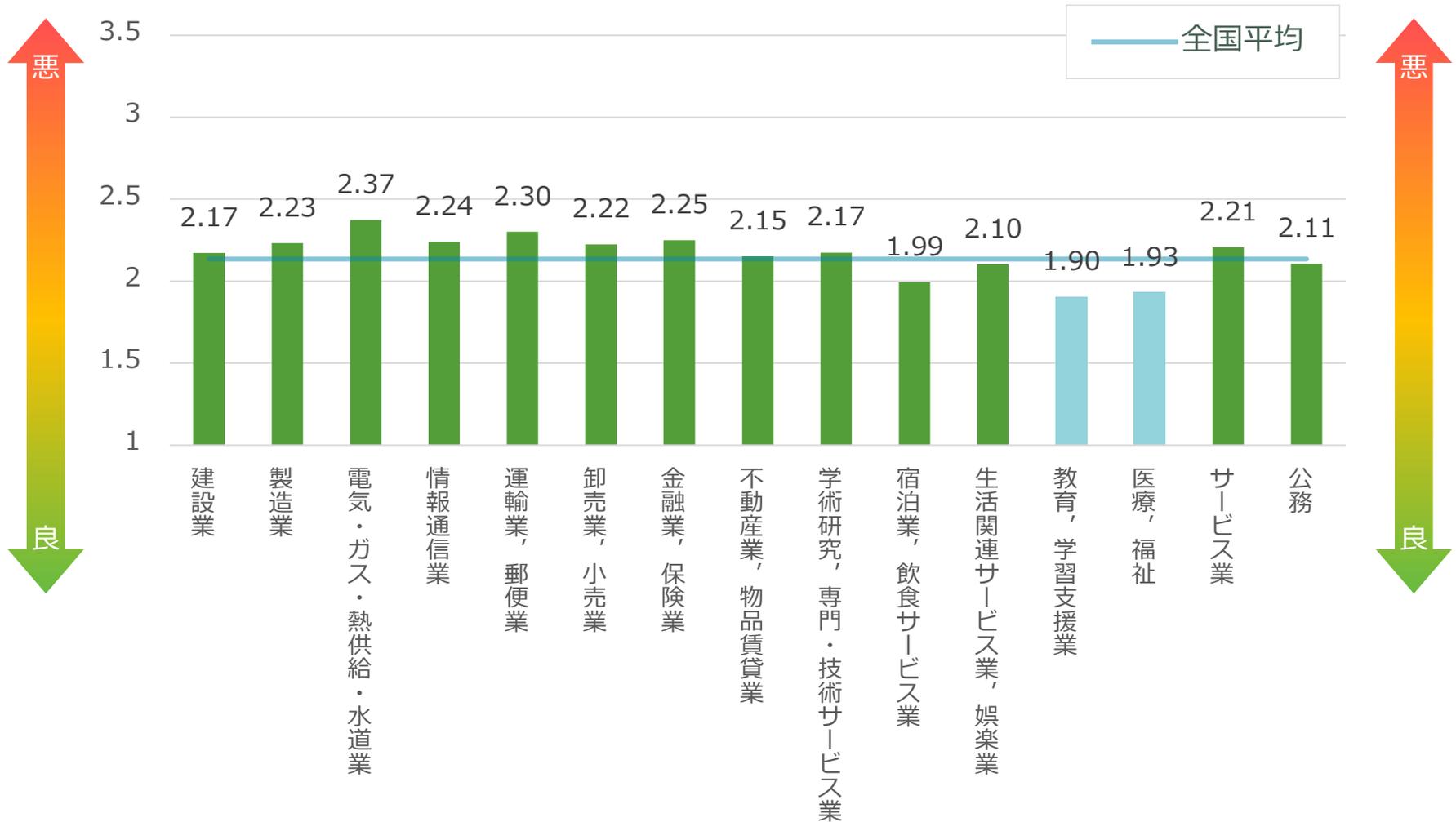
仕事の適性度



最も不良：電気・ガス・熱供給・水道業

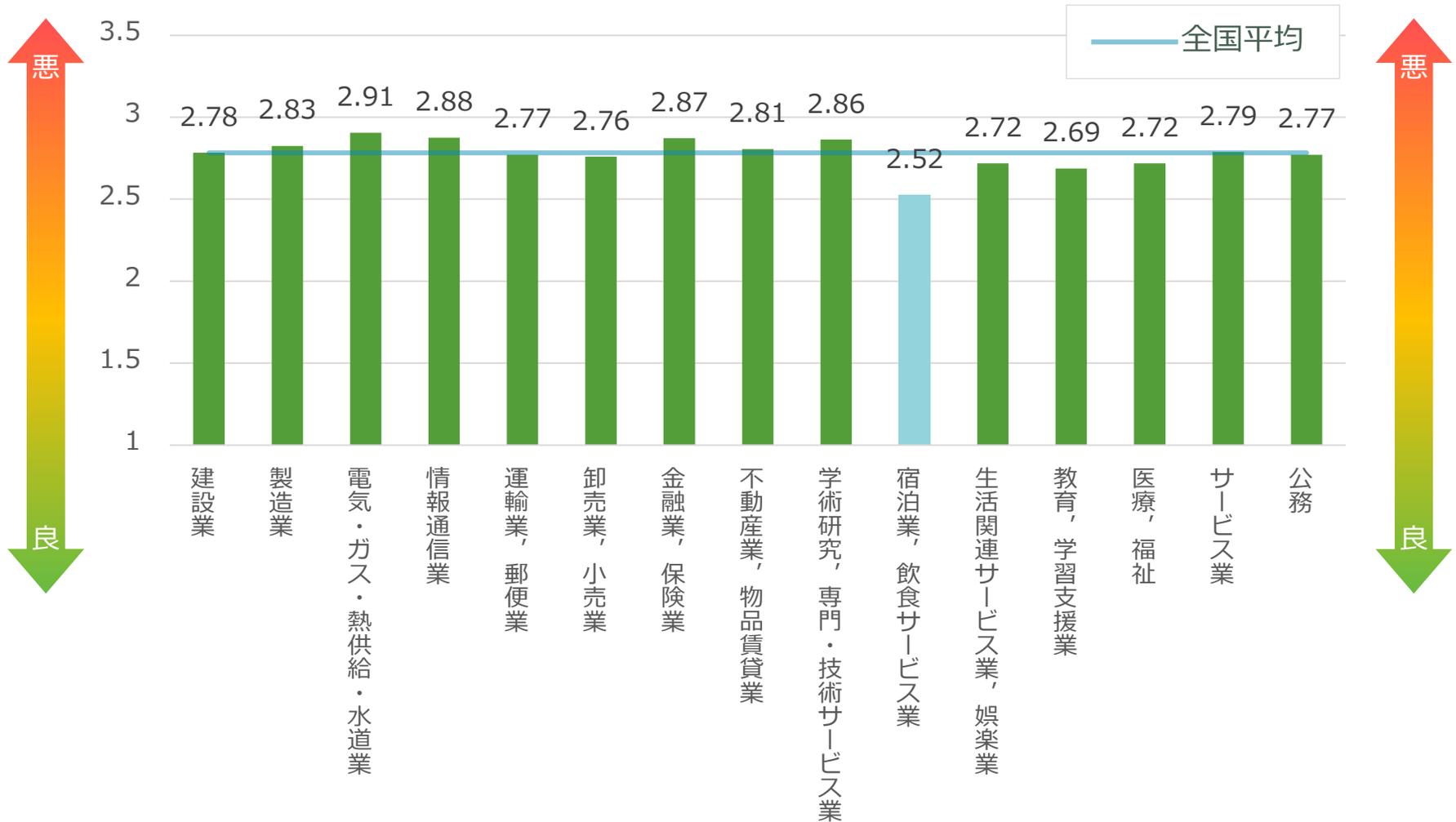
最も良好：教育・学習支援業

働きがい



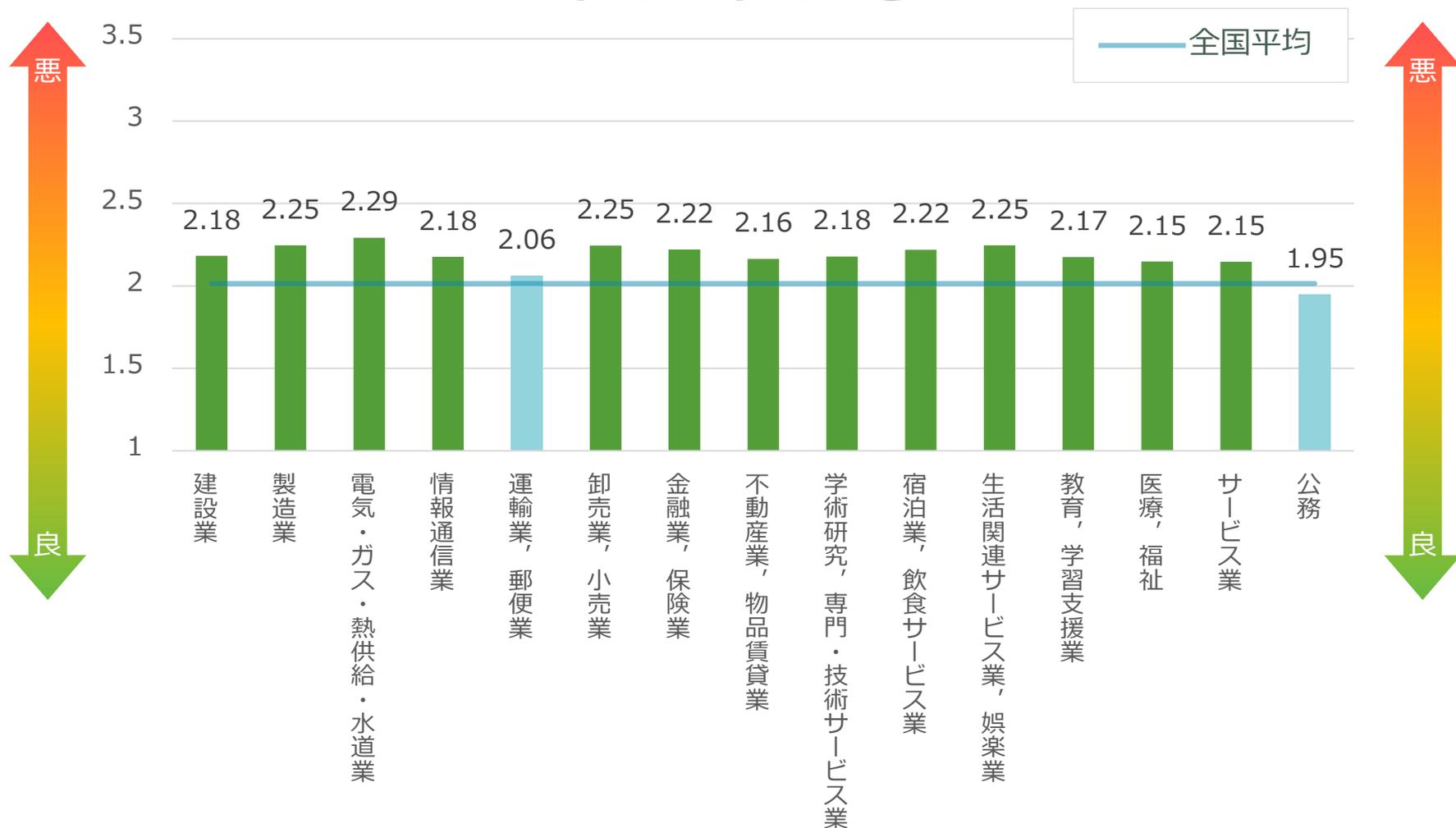
良好：教育・学習支援業、医療・福祉

活気



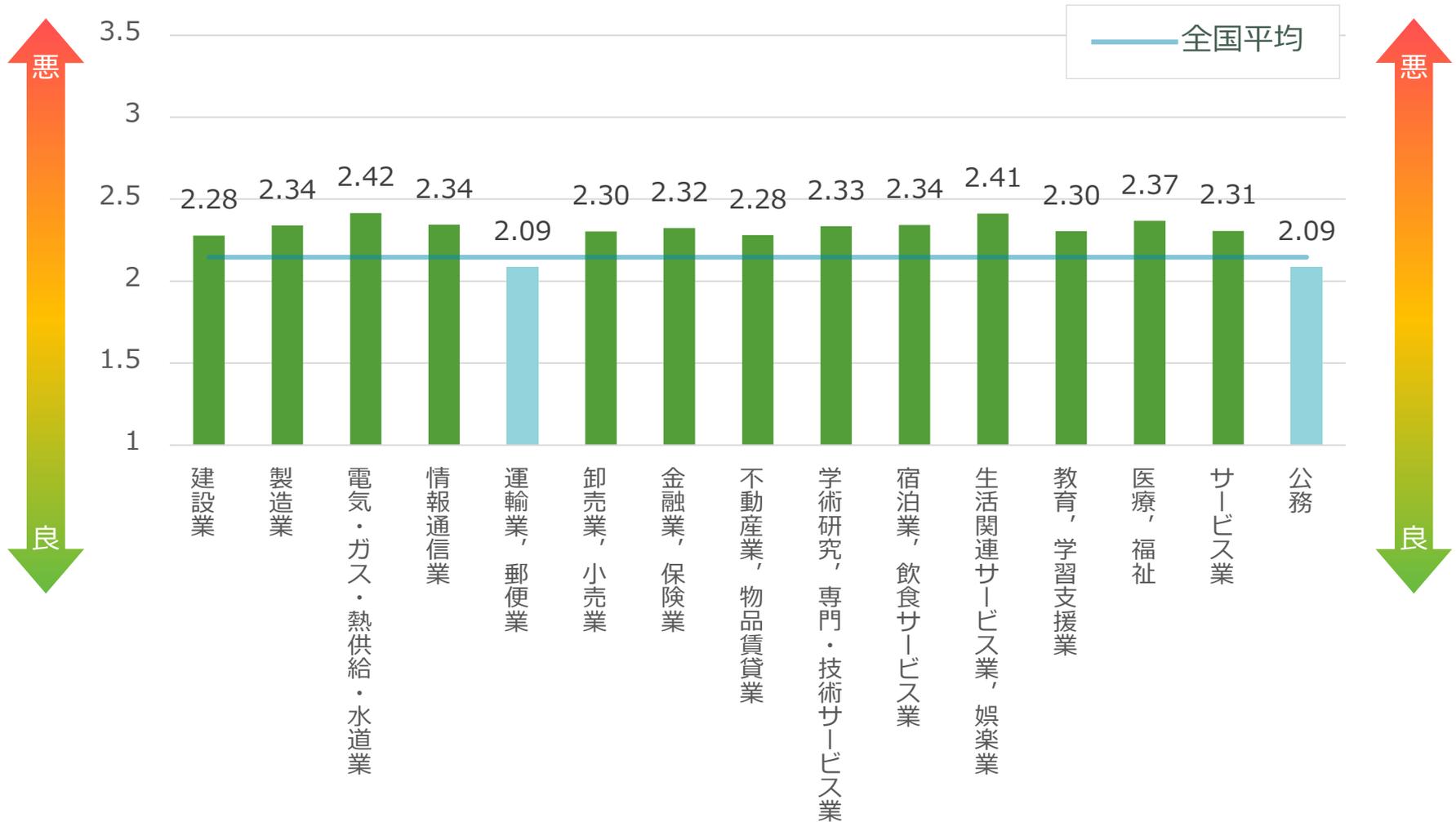
最も良好：宿泊業・飲食サービス業

イライラ感



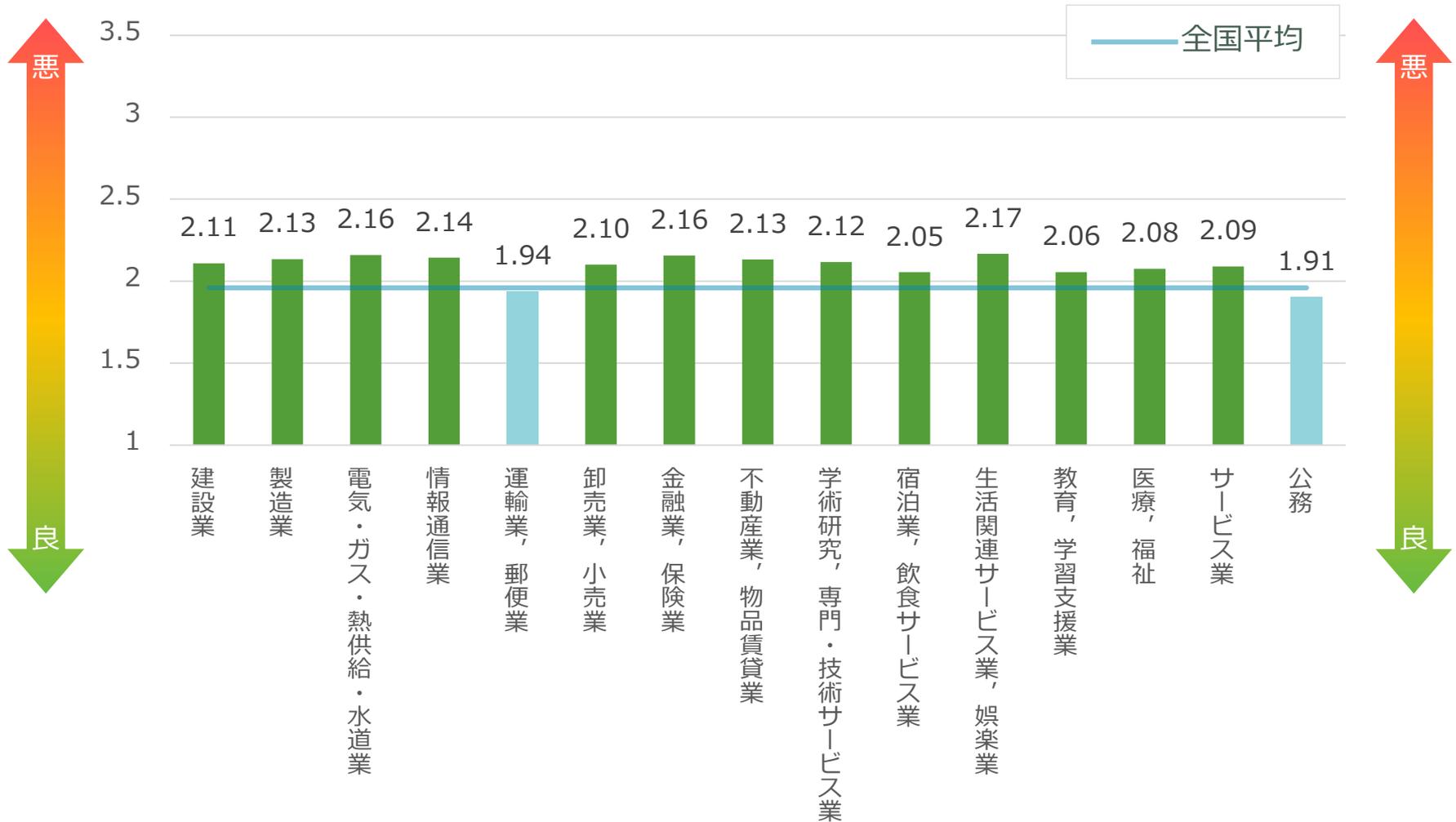
良好：運輸業・小売業、公務

疲労感



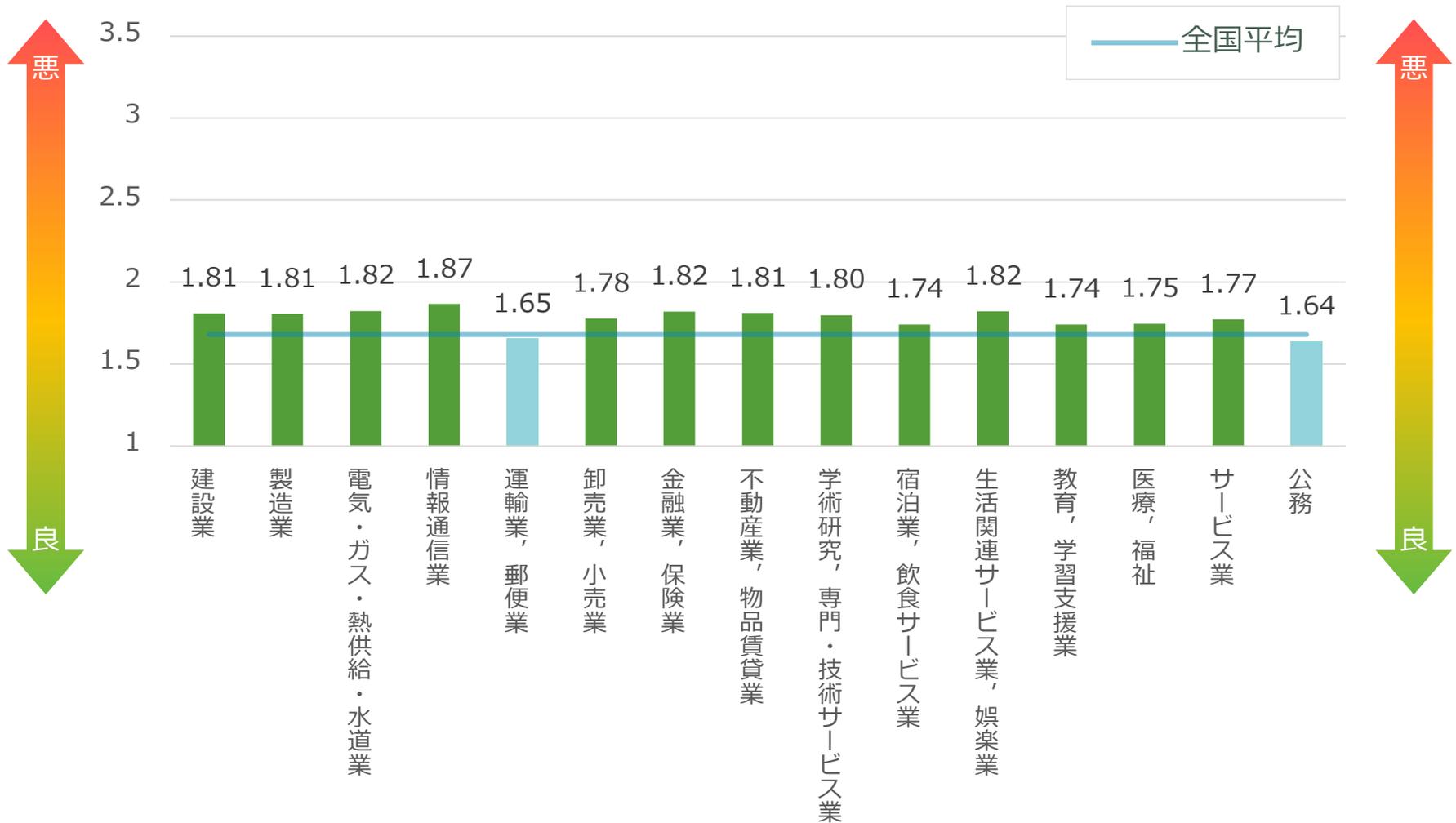
良好：運輸業・小売業、公務

不安感



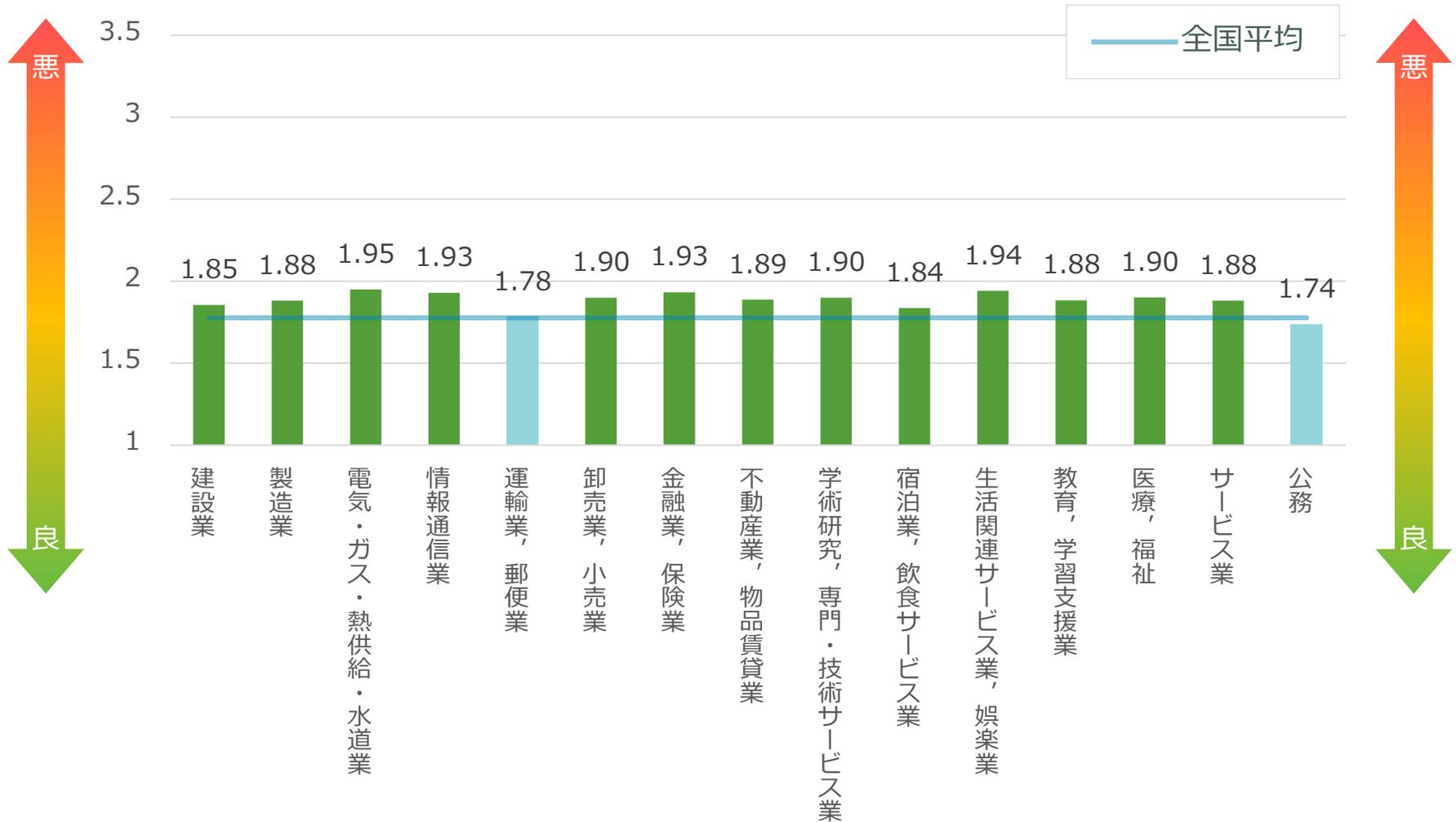
良好：運輸業・小売業、公務

抑うつ感



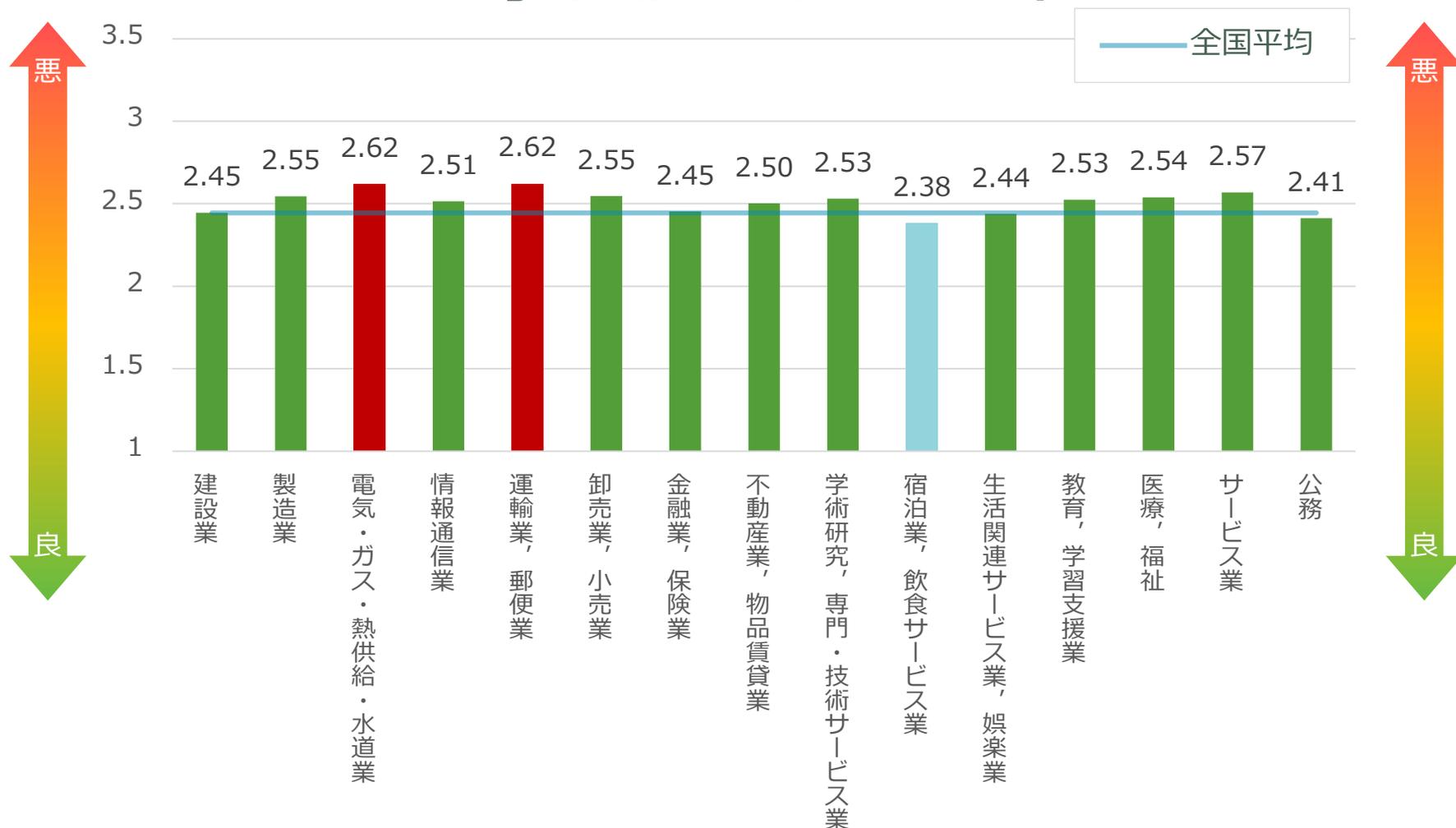
良好：運輸業・小売業、公務

身体愁訴



良好：運輸業・小売業、公務

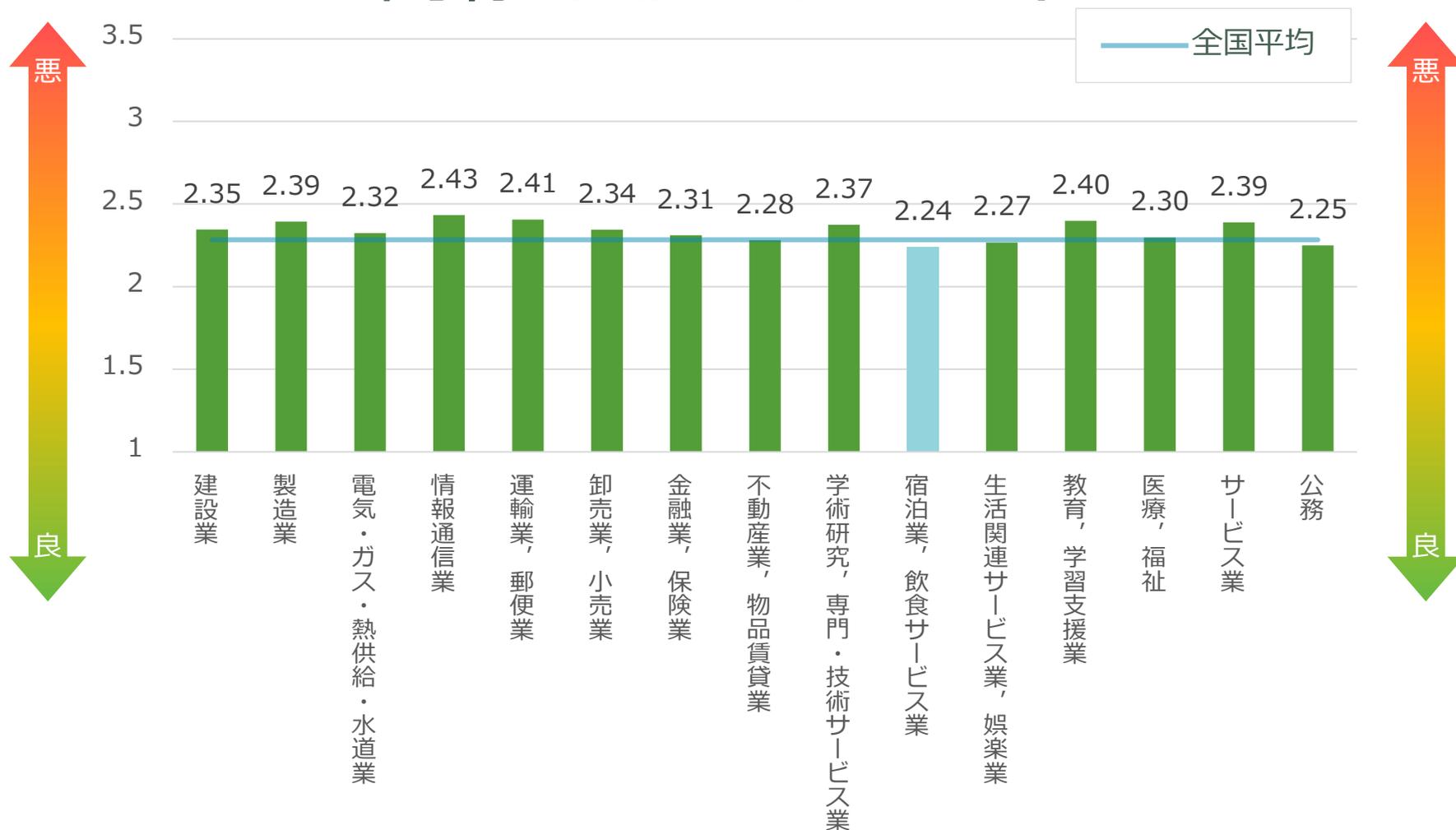
上司からのサポート



最も良好：宿泊業・飲食サービス業
不良：電気・ガス・熱供給・水道業、運輸業・郵便業

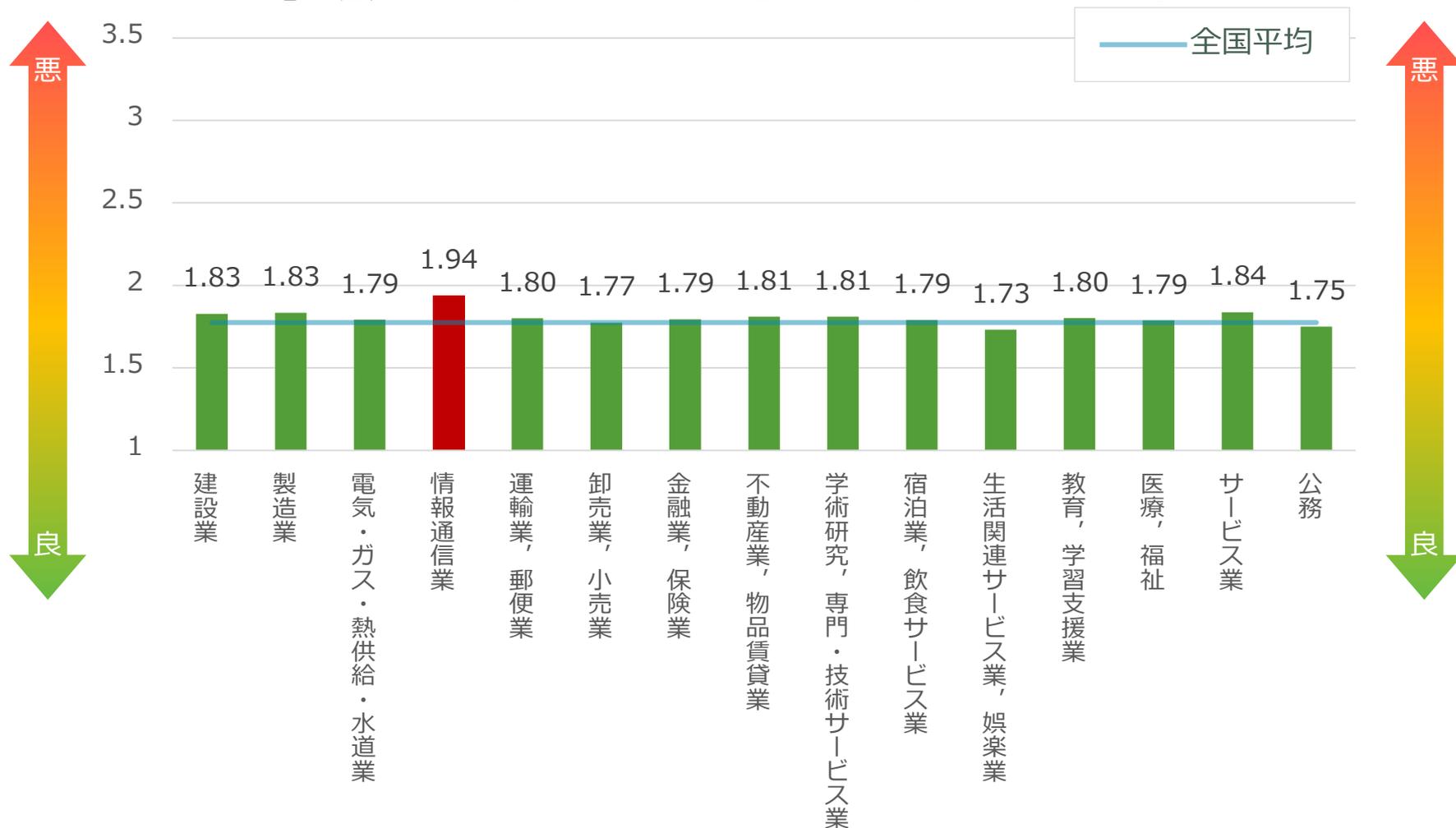
※ただし大きな差はない

同僚からのサポート



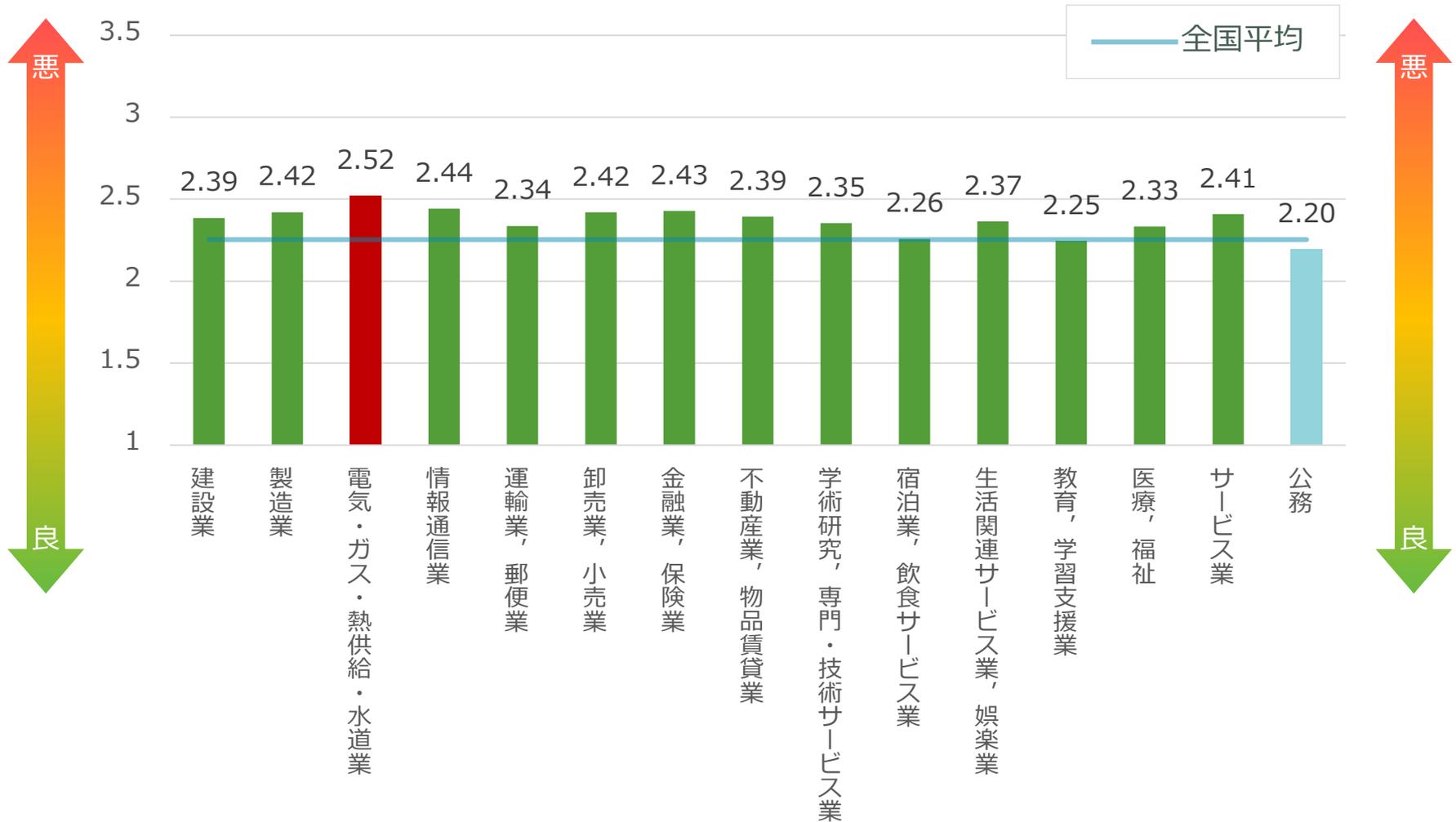
最も良好：宿泊業・飲食サービス業
最も不良：情報通信業

家族・友人からのサポート



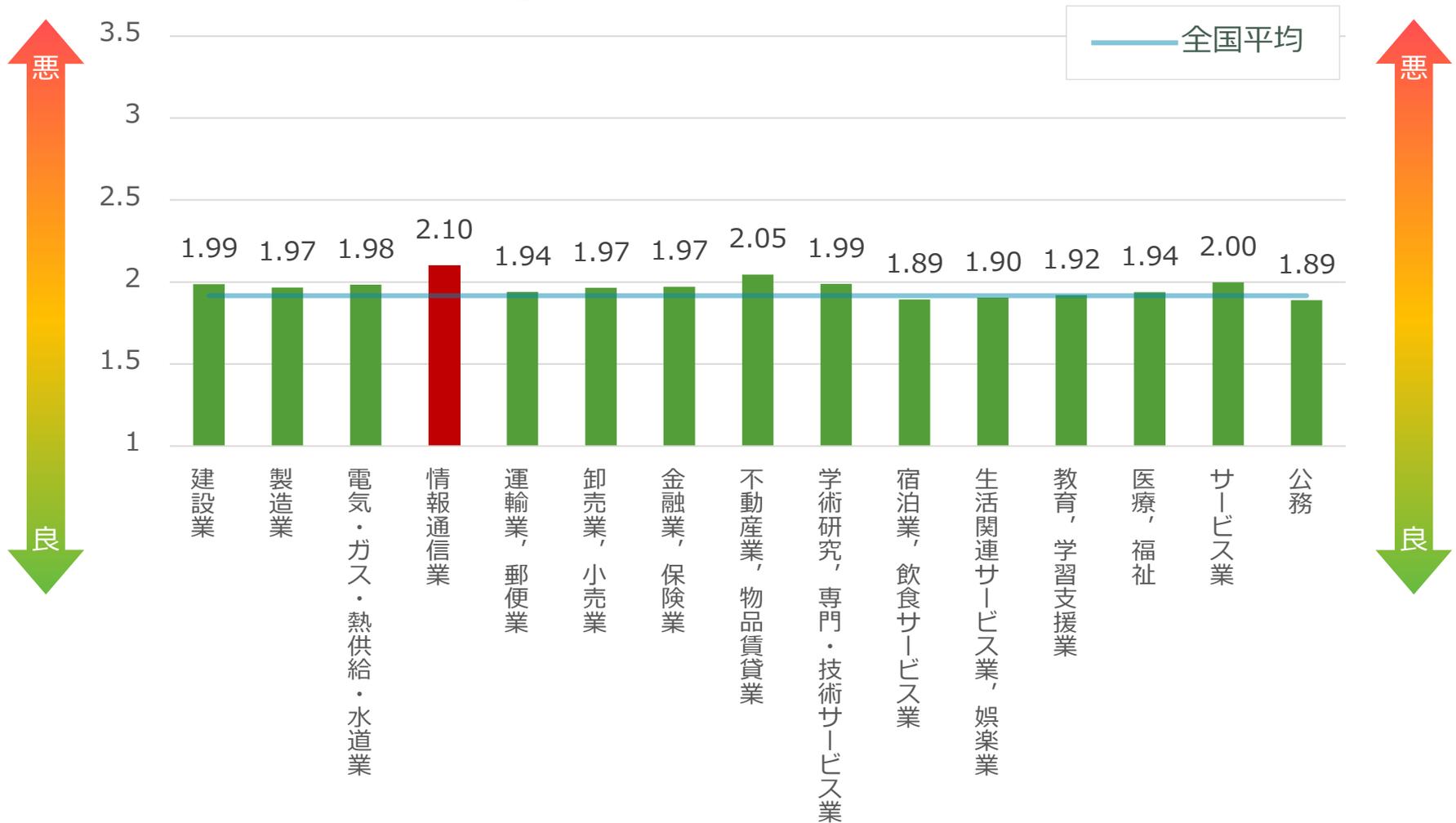
最も不良：情報通信業

仕事の満足度



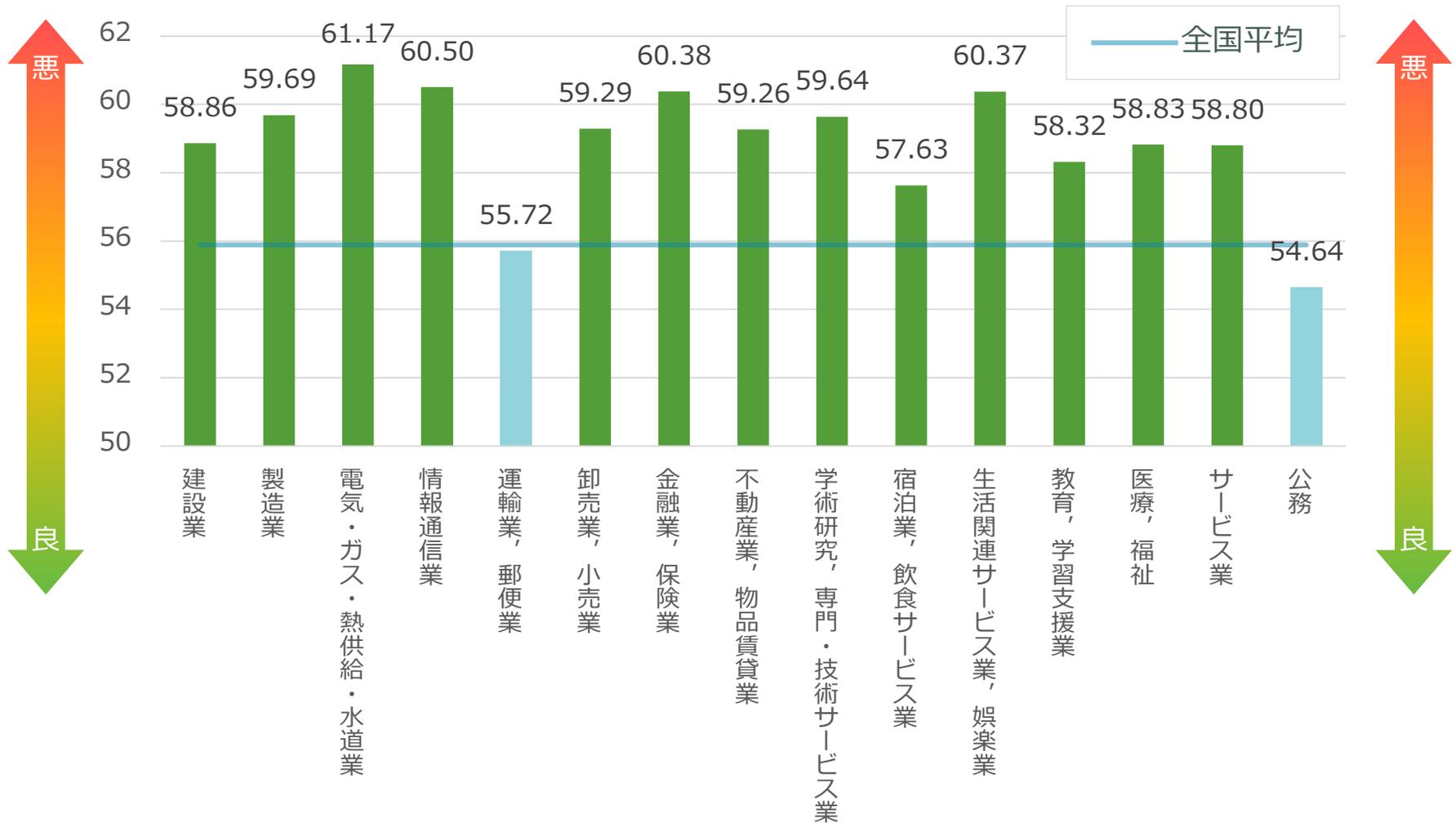
不良：電気・ガス・熱供給・水道業
最も良好：公務

家庭の満足度



最も不良：情報通信業

ストレス反応合計点



良好：運輸業・郵便業、公務